

松岡荒村 まつらむらた 評論家、詩人。明治十一年五月八日熊本縣生れ、三十七年七月二十一日歿（一八九一、九〇四）。本名悟。別號隋清蒼浪庵。明治二十六年早稻田大學高等豫科入學。安部磯雄の師事し、社會主義協會に加盟。また早稻田社會學會を興つた巨迹。

著書『荒村遺稿』 山口楓刺 白柳英樹 編、明治二十八年七月一日白柳武司刊。

復刻版—明治文獻資料刊行会編・昭和二十八年五月十五日明治文獻「明治文獻資料叢書・社に至る義篇」等。

文獻、天野茂著『松岡荒村—埋もれた明治の青春』(昭和二十七年四月二日ペリカン書房)等。